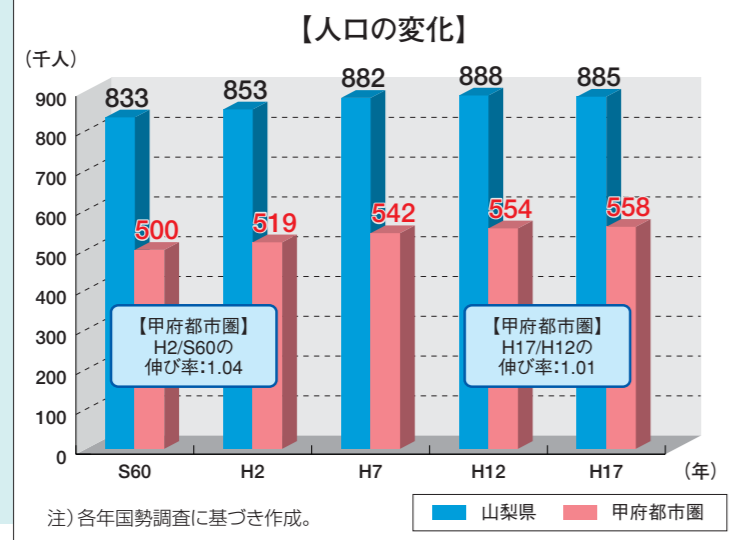


# 甲府都市圏の概況

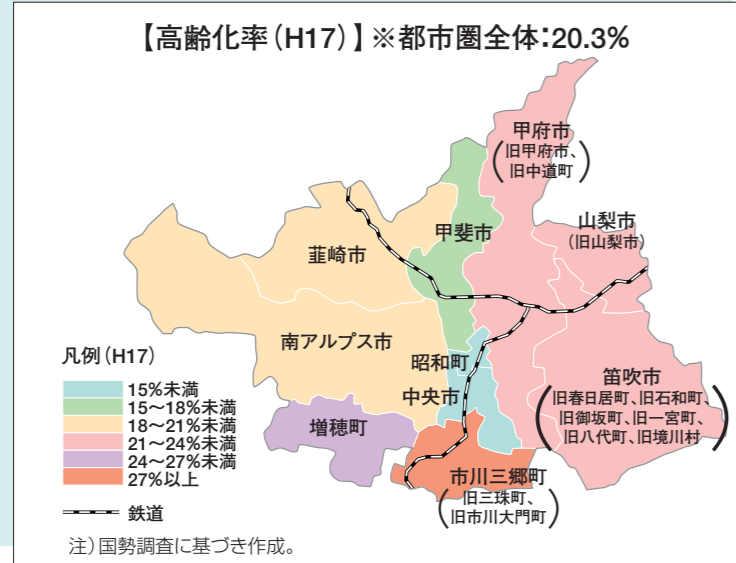
## ◆甲府都市圏の人口

甲府都市圏には約56万人が住んでおり、県全体では人口減少がはじまっていますが、人口の増加傾向が続いています。しかし、近年、増加率は伸びが鈍化しています。



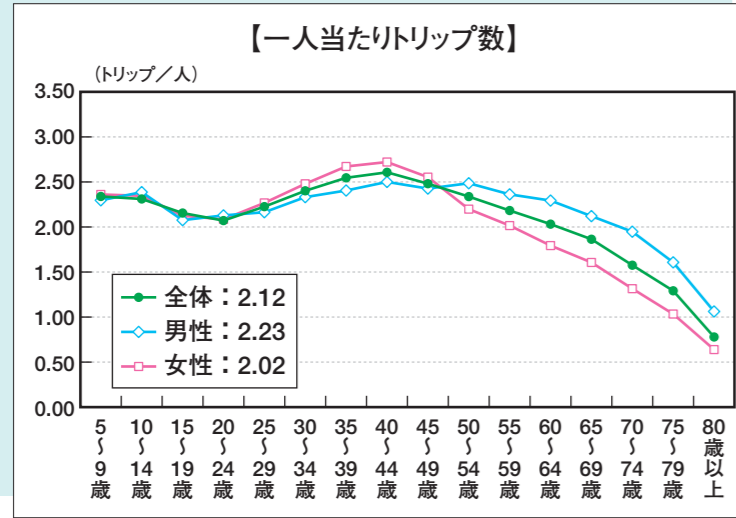
## ◆甲府都市圏各市町村の高齢化率 (高齢者:65歳以上)

高齢化の進展は、甲府都市圏全体で進んでおり、都市圏全体では約20%となっていますが、特に、都市圏南部ではおよそ4人に1人が高齢者となっています。



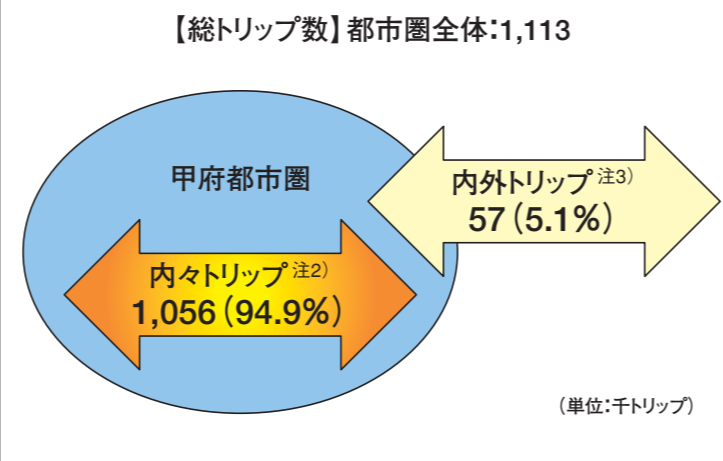
## ◆一人当たりのトリップ<sup>注1)</sup>数

一人当たりのトリップ数は、全体で2.12トリップ/日となっています。特に、30歳台~40歳台の女性の移動が多くなっています。



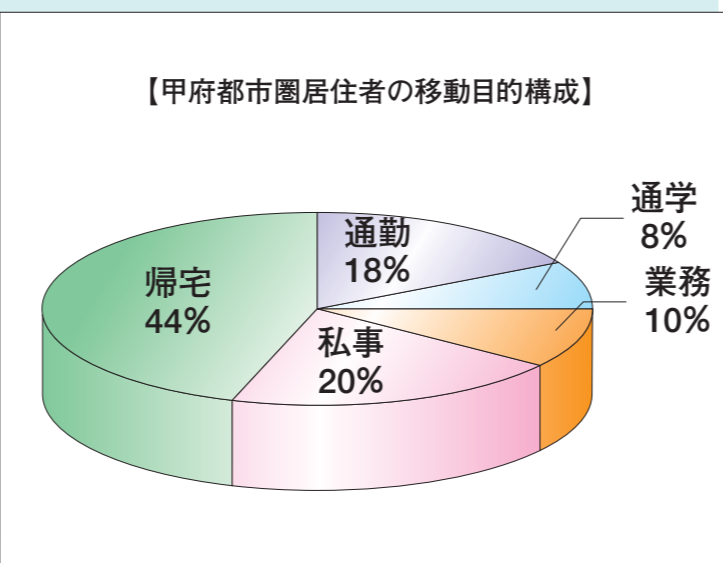
## ◆甲府都市圏の総トリップ数

都市圏内居住者によるトリップは、1,113千トリップであり、都市圏内での移動が約95%を占めています。



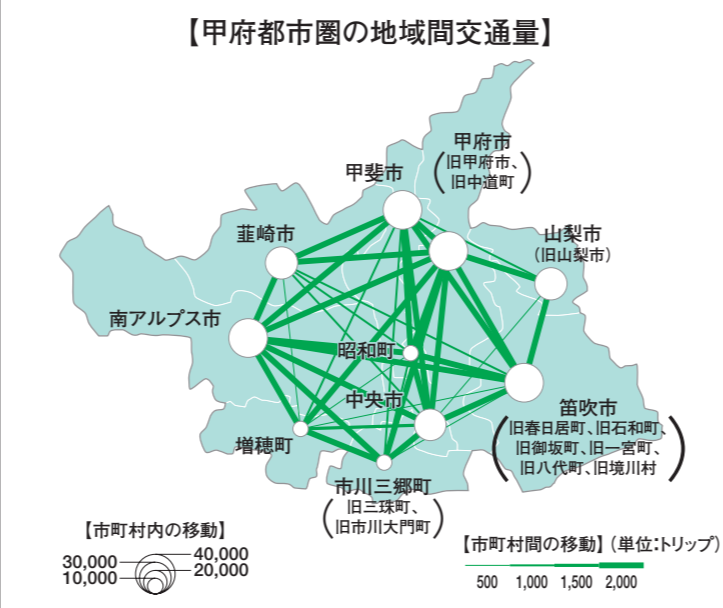
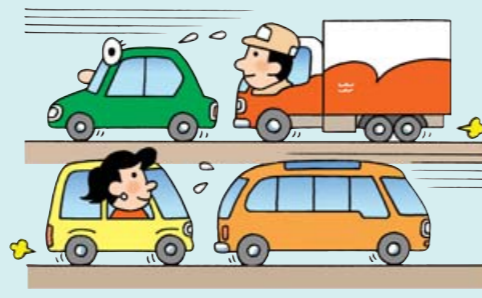
## ◆甲府都市圏居住者の移動目的

移動の目的では、「通勤」目的や買物、レジャー、習い事をはじめとした「私事」目的が2割程度、「通学」目的や「業務」目的が1割程度となっています。



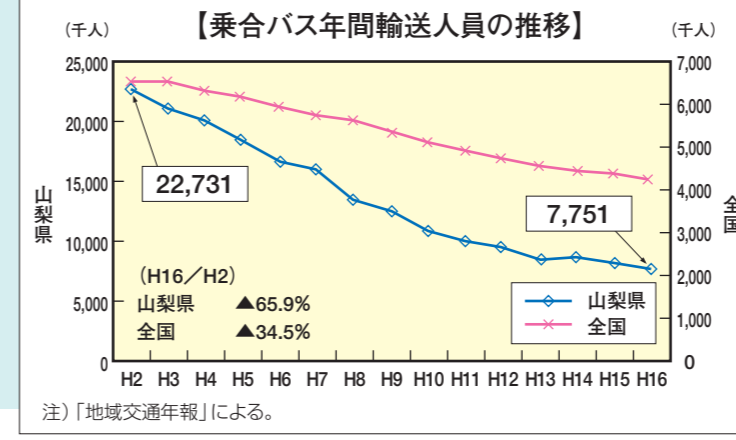
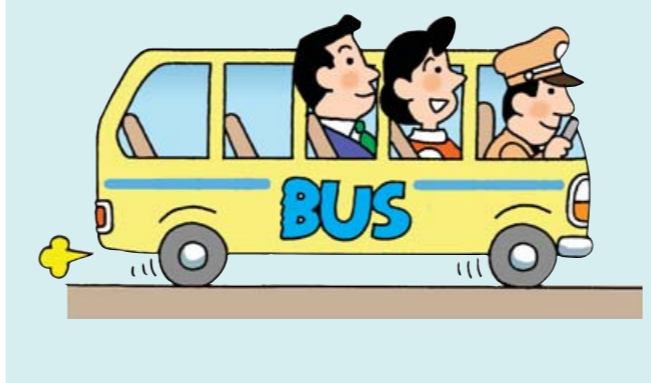
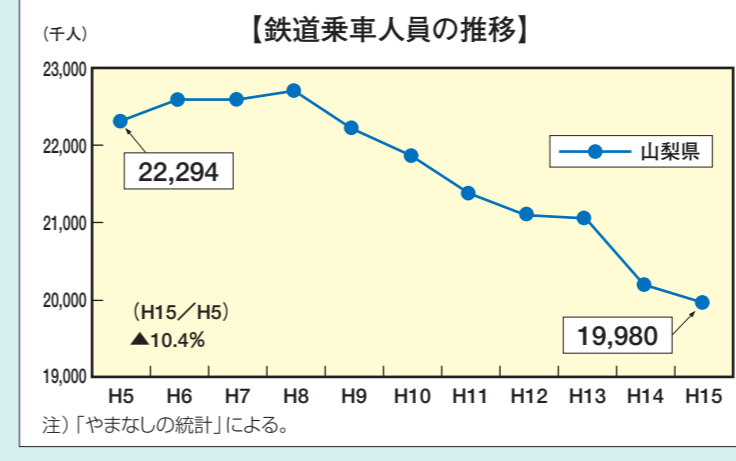
## ◆甲府都市圏内の地域間の交通量

甲府市や甲府市に隣接する甲斐市、中央市、昭和町等とその他市町村を結ぶ交通量が多くなっているほか、南アルプス市、笛吹市などでは、市内での移動が多くなっています。



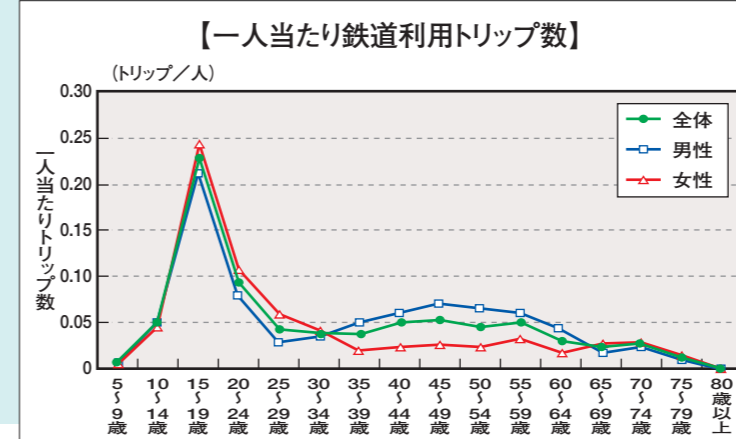
## ◆鉄道乗車人数・バス年間輸送人員の推移

山梨県の鉄道利用者数 (JRの年間輸送実績) は、平成8年をピークに利用者数が減少しています。また、山梨県内のバス年間輸送人員も、減少傾向が続いています。



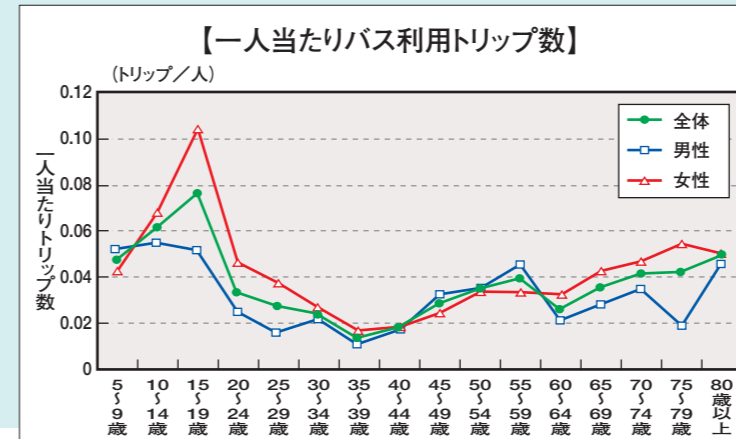
## ◆鉄道利用者層

甲府都市圏の鉄道利用者の大部分は、免許を持たず自動車利用可能性の低い15~19歳において、一人当たりのトリップ数が多くなっており、その利用目的は通学利用が多くなっています。代替する交通手段を持たない中高生等にとっては、鉄道は重要な交通手段と考えられます。



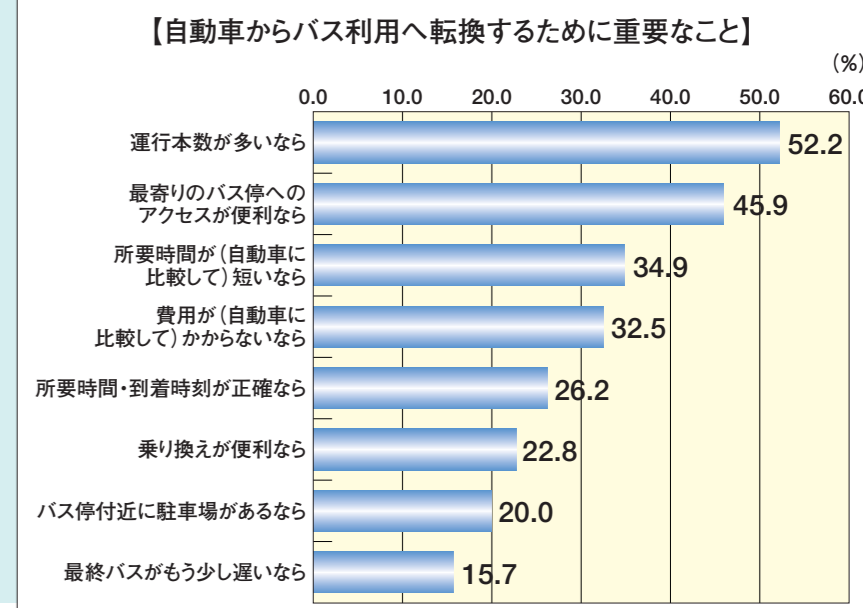
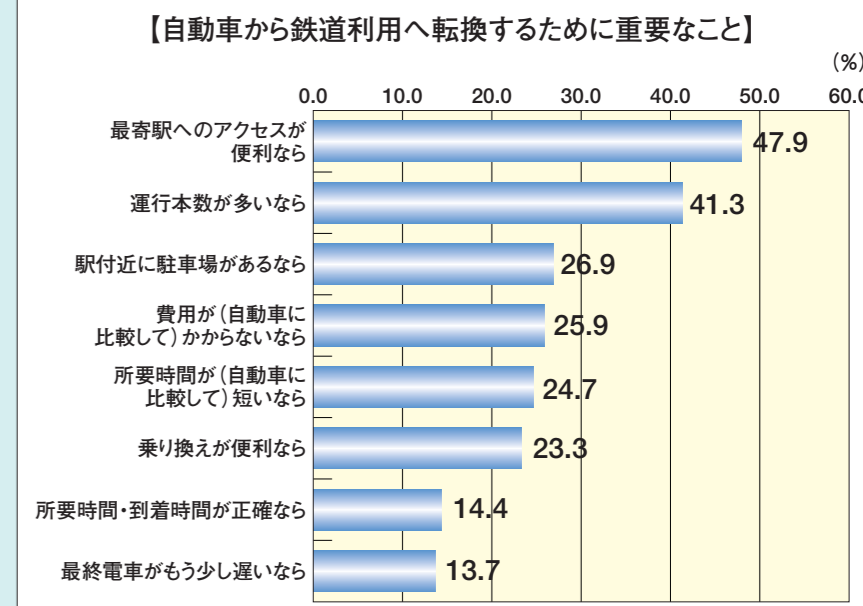
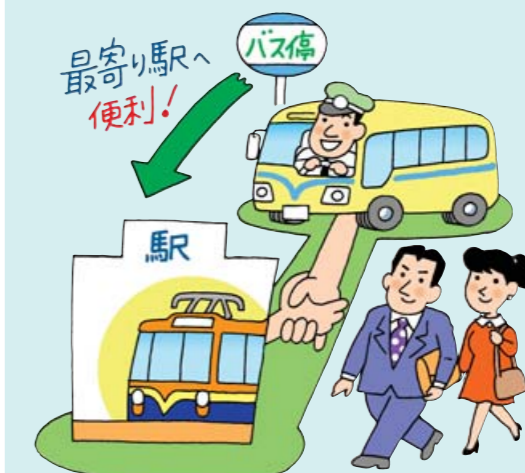
## ◆バス利用者層

甲府都市圏のバス利用者は、鉄道と同様に15~19歳の学生層、及び女性や高齢者の利用が多く、代替する交通手段を持たない女性、高齢者等にとってバスは重要な交通手段と考えられます。



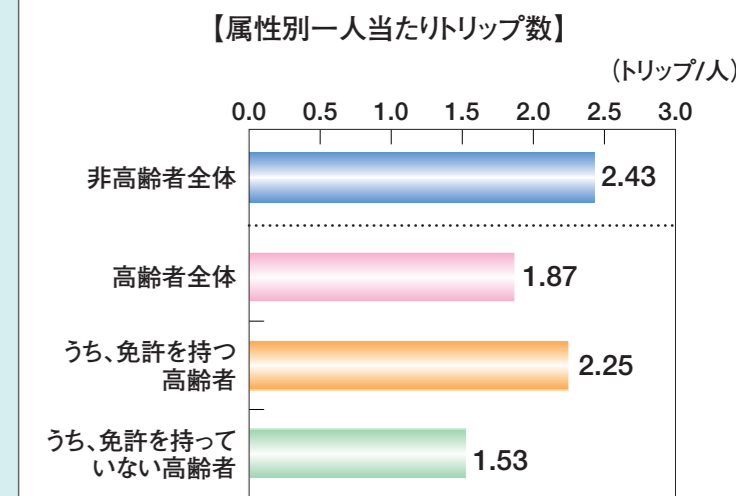
## ◆自動車利用者が公共交通機関へ転換するために重要なこと

現在、自動車を利用している人が公共交通機関へ転換するための条件として、「最寄り駅/バス停へのアクセスが便利なら」、「運行本数が多いなら」といった点が多くあげられています。



## ◆高齢者の移動の特徴

高齢者 (65歳以上) は、非高齢者 (65歳未満) に比べて一人当たりトリップ数は少ない傾向にありますが、特に免許を持たない高齢者ほど一人当たりトリップ数が少ない傾向があります。



### 用語解説

注1) トリップ : 人がある目的をもってある地点からある地点へ移動する単位をトリップといい、1回の移動でいくつかの交通手段を乗り換えても1トリップと数えます。  
注2) 内々トリップ: ある地域の中に出発地と到着地を持つ交通をいいます。  
注3) 内外トリップ: ある地域に出発地 (又は到着地) があり、その地域以外に到着地 (又は出発地) を持つ交通をいいます。